

令和8年度 宝塚大会議

シビックゾーンの未来を共創する！

～ 憩い・賑わいの創出、エリアの魅力向上 ～

令和8年（2026年）8月31日

宝塚市 都市整備部 施設マネジメント課

“シビックゾーン” 周辺にある公共施設



市役所周辺を中心とする一帯のエリア
公共施設が集まっており 市民の憩いの場・市民の暮らしをサポートする拠点 ²

どうして今“シビックゾーン”の未来を考える？

公共施設に今起きている問題

施設の老朽化

ハコモノ施設の
70%以上が
築30年以上！



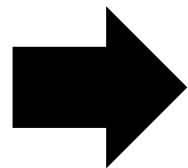
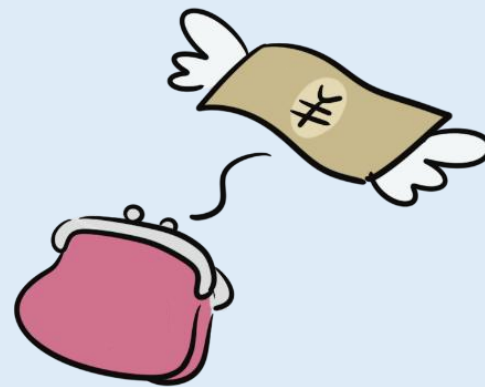
人員不足

少子高齢化により
働き手が不足…



市の財政状況

公共施設の
メンテナンスには
お金がかかる



これらの課題はもちろん
シビックゾーン内の公共施設にもあてはまります…

どれくらいの影響かというところ…

どうして今“シビックゾーン”の未来を考える？

現在の財政見通しでは…

市全体で今後10年間で**約23億円**の収支不足が見込まれています

シビックゾーンにかかる歳出を1年に換算すると…※

スポーツセンター改修工事費

約2億円

市庁舎改修工事費

約1億円

スポーツ施設指定管理料

約1億円

市庁舎総合管理委託

約2億円

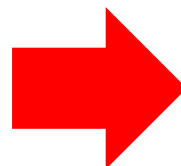
教育総合センター総合管理委託

約1千万円

公民館指定管理料

約6千万円(1館)

…などなど

 **シビックゾーンが財政に与える影響はとて大きい！**

※過去3～5年の決算額等から算出した参考値⁴

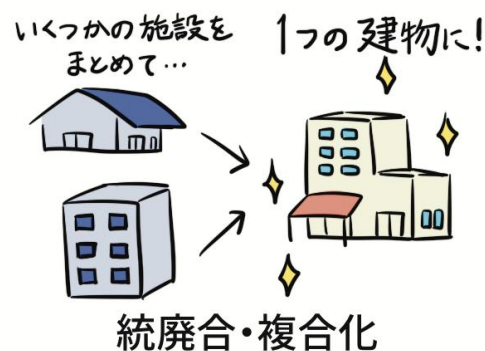
どうして今“シビックゾーン”の未来を考える？

現在 課題の解決のため 市内の**公共施設の再編**に取り組んでいます

特にシビックゾーンには規模の大きな公共施設があつまっているため
ここはエリアとして有効活用や維持管理の負担を低減することについて 多くの
可能性があると考えています

「再編」にはこんな方法が考えられます

これで必要なサービスを維持しつつ
お金や人の負担を減らすことを目指すよ



行政だけでは限界があるため
官民一体となって課題解決を
図っていききたい！

官民連携事業を検討中！

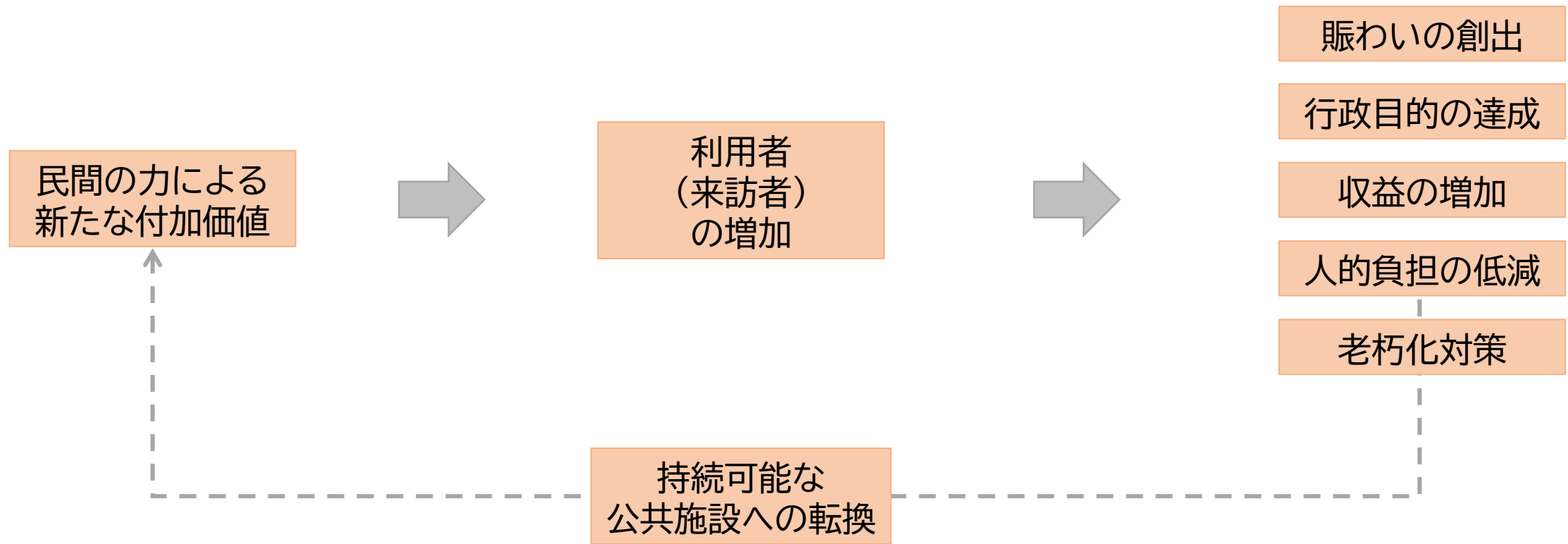
“シビックゾーン”の目指す姿

市の計画での位置づけ

- ・ 暮らしを支える「シビック拠点」（立地適正化計画・都市計画マスタープラン）
市役所をはじめとする公共公益機能や、健康・スポーツ機能が集積し、市民の暮らしを強力にサポートする拠点。
- ・ にぎわいを生む「みどりのシビック拠点」（みどりの基本計画）
末広中央公園や武庫川の豊かな自然を活かし、魅力ある都市環境の創造と、市民が気軽に集い楽しめる「にぎわいの拠点」。
- ・ 市の「重要防災拠点」（地域防災計画・都市計画マスタープラン）
市役所（災害対策本部）、末広中央公園（広域避難地）、スポーツセンター（物資・応援受入）など、大規模災害時においても機能し続ける中枢拠点。
- ・ 官民連携による「新たな付加価値の創出の場」（パークマネジメント計画）
公共空間（公園、ひろば、公共施設など）を民間事業者の創造性を発揮する場として提供し、新たな付加価値や賑わいを生み出す実践エリア。

つまり、シビックゾーンとは、
**魅力ある環境を活かしながら、市民の「暮らし」と「安全」を支え、
民間の力で新たな付加価値やにぎわいを生み出すエリア**
としての役割があります

“シビックゾーン”の目指す姿



民間の力による新たな付加価値により利用者（来訪者）が増加することにより、賑わいを生み、利用料収入・民間収益の増加等による収支改善や民間委託による人的負担の軽減、公共施設の再編等による老朽化対策などを実現し、持続可能な公共施設への転換を図りつつ、市民の「暮らし」と「安全」を支えるという行政目的を達成することを目指す

テーマ設定の目的

エリアや各施設の特性を踏まえて、
どのような付加価値・にぎわいを生み出せるのか？
大会議メンバーのアイデアを募り、今後の事業検討に活かしたい

自社のシーズ × 他社のシーズ × シビックゾーンの施設・空間・行政サービス
= 新たな付加価値・にぎわいの創出
⇒ 地域課題の解決へ

【今後の事業検討スケジュール（予定）】

- ・ 9月 シビックゾーン官民連携事業の基本的な考え方（案）公表
- ・ 9～11月 サウンディング型市場調査
- ・ 12～3月 シビックゾーン官民連携事業の基本的な考え方のブラッシュアップ
- ・ R9 実施方針の公表
- ・ R 1 0 公募
- ・ R 1 1 事業開始

👍 本日のアイデア活用

グループワーク

■ やっていただくこと

エリアや各施設の特性を踏まえて、どのような付加価値やにぎわいを生み出せるのか？
それがどのように課題解決につながるか、についてグループ内で意見交換し、
グループでアイデアをまとめ、発表する。

（施設の統廃合なども含め、制限なく自由なアイデアでOK）

STEP1 以下のターゲットの中から一つ又は複数を選択

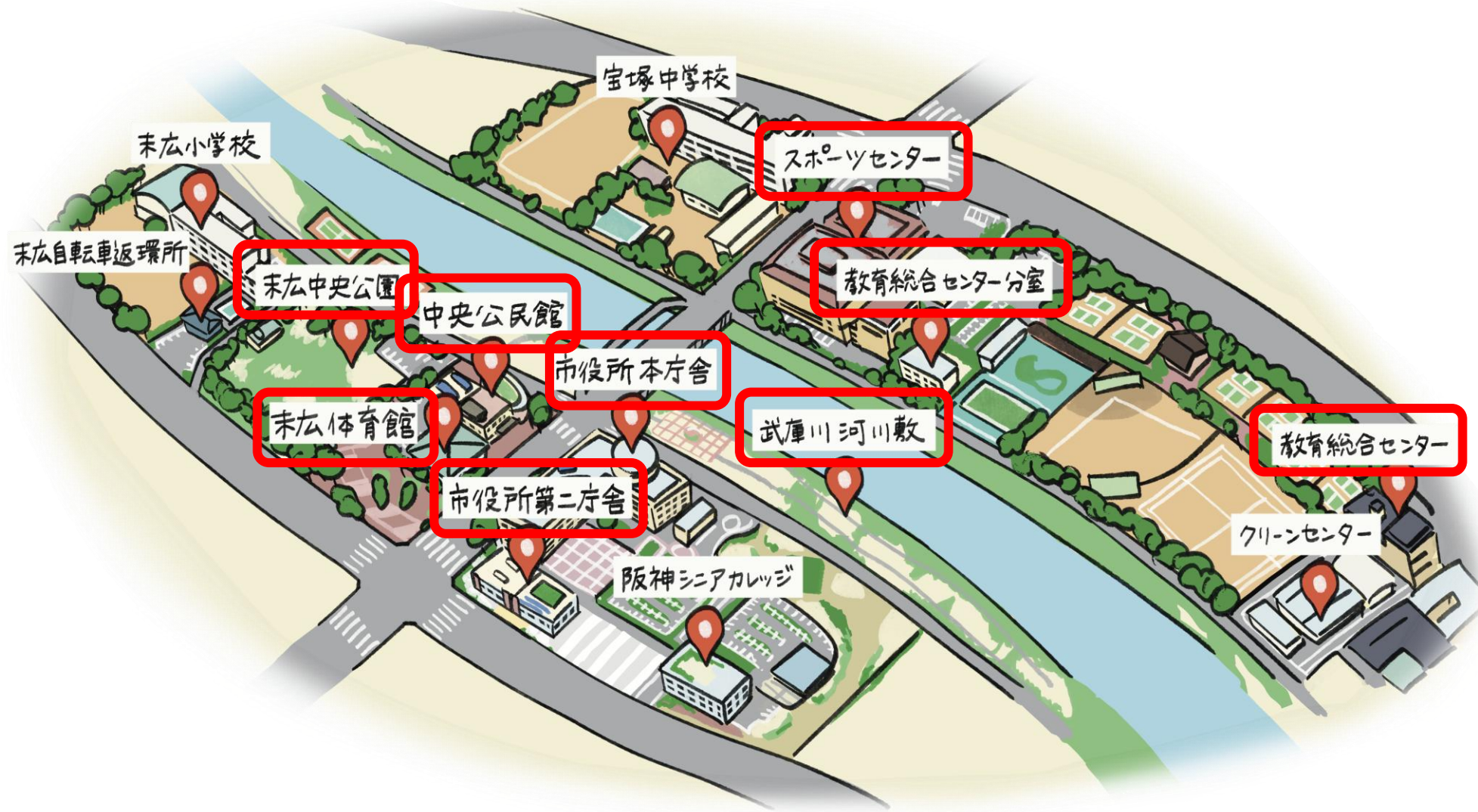
- ① 子ども・子育て世代
- ② シニア
- ③ 現役世代
- ④ スポーツをする人（世代問わず）
- ⑤ その他自由に設定

STEP 2 グループで意見交換しながらアイデアをまとめる
（具体的な流れは後ほど説明）

※対象とする施設は、単独でも複数でも良いが、
複数施設の連携や活用ของアイデアが望ましい（エリアマネジメントの観点⁹で）

ここからは
シビックゾーン内の施設と
市民ニーズ調査の結果を
紹介します

“シビックゾーン” 周辺にある公共施設



本ワークショップの対象は、赤枠で囲った施設とします

宝塚市役所 本庁舎及び第二庁舎

本庁舎

1980年度建築（築46年）

建築家・村野藤吾 設計

「近代的にして且つややクラシック風な表現」
の構想のもと設計されました

第二庁舎（上下水道局庁舎）

2022年度建築（築4年）



本庁舎



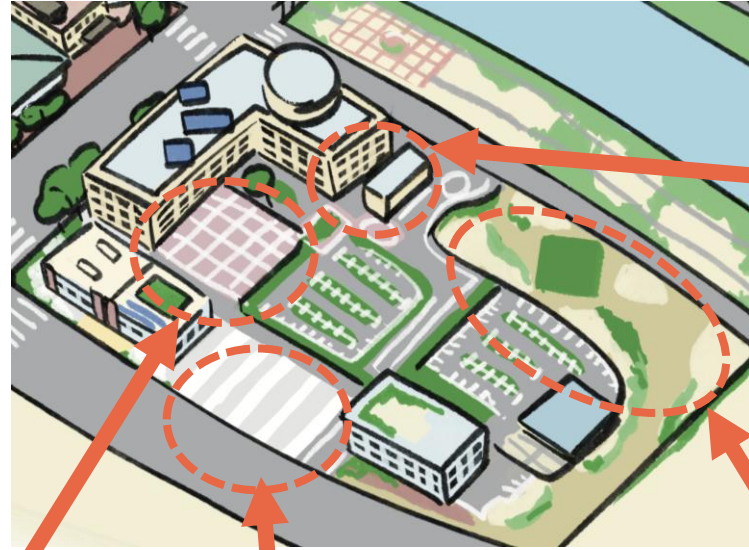
市民ホール



第二庁舎

宝塚市役所 本庁舎及び第二庁舎

市役所機能以外にも
宝塚料理店や
設けられたひろばなど
市民の皆さまが利用できる
空間が用意されています



▼ひろばで開催されたイベントの様子



宝塚市役所 本庁舎及び第二庁舎（課題）

- ハードの課題
 - ・ 老朽化による修繕箇所が多い。
 - ・ 慢性的に会議室や倉庫が不足している。
 - ・ 著名建築家による作品であるため、修繕時に配慮が必要。
- ソフトの課題
 - ・ 清掃、守衛、機械設備、電話交換、総合受付駐車場トラブルなどの迅速な対応が求められる、臨機応変な指示ができる統括が必要である。
 - ・ 中庭ひろば、市役所前ひろば及び 2 階市民ホールなどのスペースを今後活用していきたい。閉庁時の対応などを検討しなければならない。

末広中央公園



2004年度開園（開園後22年）

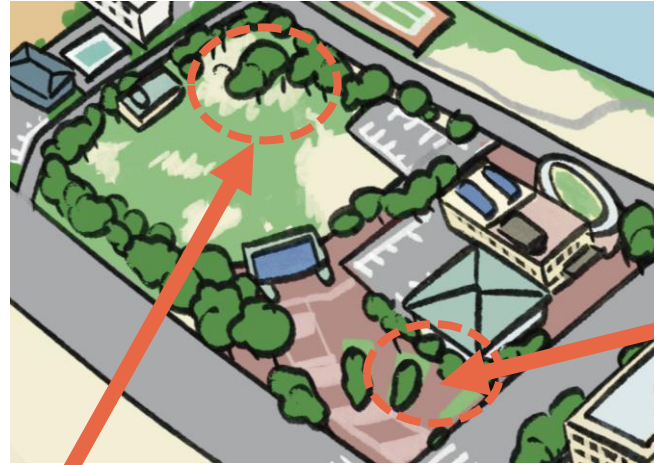
阪神淡路大震災後に防災公園として整備
されました

広々とした芝生広場が大半を占めていま
すが、遊具広場や噴水も人気です



末広中央公園

公園内には
大型複合遊具や健康遊具があり
遊びに来た子どもたちから
ランニングをする大人たちまで
幅広い年齢の方が楽しめます



末広中央公園



末広中央公園では
様々なイベントが行われています

▼令和7年度に開催されたイベント（一例）

4月 KIDSフェス

7月 OSORA market

7月 天体観測イベント

7～8月 宝塚イルミネーション

11月 たからづか民族まつり

1月 宝塚市消防出初式

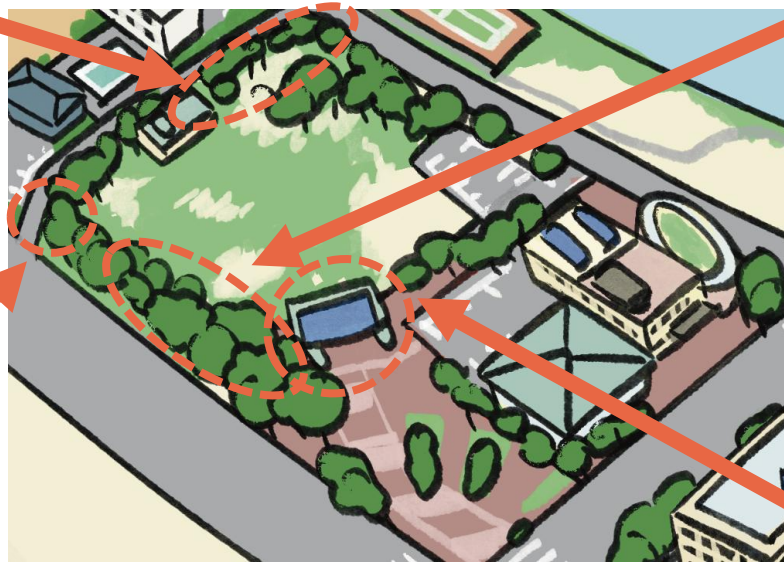


◀ KIDSフェスの様子

末広中央公園



◀ シートを利用し応急生活空間確保 ▶



◀ 地下に貯水槽が埋設
災害時に飲料水を確保し
火災時には防火用水としても利用

救援物資の荷捌き場となる ▶



末広中央公園（課題）

- ハードの課題

- ・ 施設・設備の老朽化により、維持管理コストが増大している。
- ・ 公園内に日陰が少なく、猛暑の期間は利用者が減少する。
- ・ 駐車場に普通車区画しかないため、バス等の大型車が利用できない。
- ・ 駐車場が狭小のため、大規模イベントの開催が困難である。

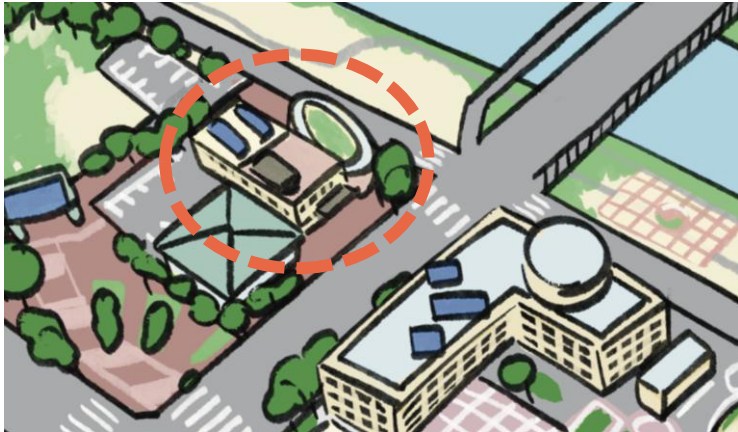
- ソフトの課題

- ・ 条例等による行為の制限および利用者マナーへの対応。

中央公民館

2018年度建築（築7年）

イベントに活用されるホールや
市民活動などに利用される貸室
学生たちが集まる自習室など
市民のにぎわいの拠点として
広く利用されています



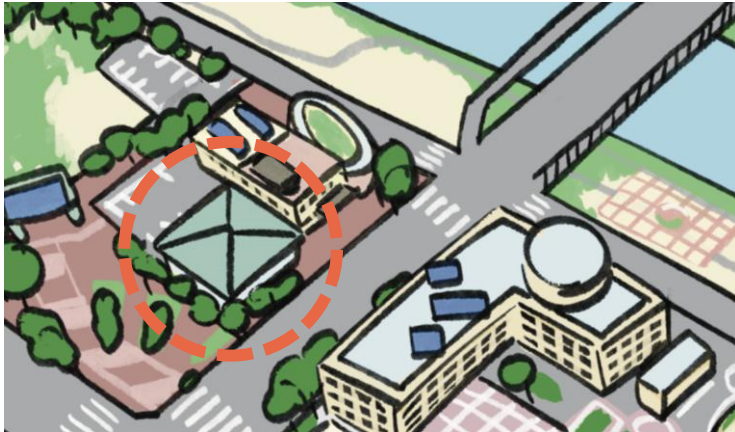
- ソフトの課題

- ・ 公民館は 3 館あるため、運営主体は 3 館が同じであることが望ましい。
- ・ 社会教育法に基づく施設のため、営利目的の利用などの制限がある。
- ・ 現指定管理者は意欲的に多種多様な講座を実施しているが、指定管理者の変更により講座の安定的な提供が維持できない可能性がある。

末広体育館

1971年度建築（築55年）

アリーナとスタジオがあり
バスケットボールやバレーボ
ールなどインドアスポーツを行う
場として利用されています



末広体育館

アリーナは様々なインドアスポーツの練習や試合、スタジオはダンスレッスンなどに利用されています



▼スタジオの利用の様子



▼アリーナの利用の様子



末広体育館（課題）

- ハード面の課題

- ・ 施設の築年数が 60 年に近づいており、改修や更新についての方針整理が必要な時期にきている。
- ・ 定期的に小規模な修繕を行うことが望ましいが、施設が大規模なため、指定管理業務での対応範囲である 60 万円を上回る修繕が多くなり、十分な対応ができていない。結局大規模な修繕になった際に、予算要求するという対応になっているため、適切な保全ができているとは言い難い。
- ・ 空調設備がなく、特に夏場には利用者の熱中症になる危険性がある。
- ・ もともと企業の保養施設であったため、スポーツ施設として十分な機能を備えていない。
- ・ 大会を行うのであれば、駐車場の台数確保が必要。

- ソフト面の課題

- ・ 観客席が確保できないため、大会の開催は困難。

武庫川河川敷



宝塚新大橋からの景色

1986年度開設（開設後40年）

市が兵庫県（河川管理者）から都市緑地の占用許可を得て開設しています

ゆっくりと自然を楽しんだり、スポーツを楽しんだり、ピクニックをしたり…
市民の憩いの場として利用されています



対岸から見た市役所

武庫川河川敷

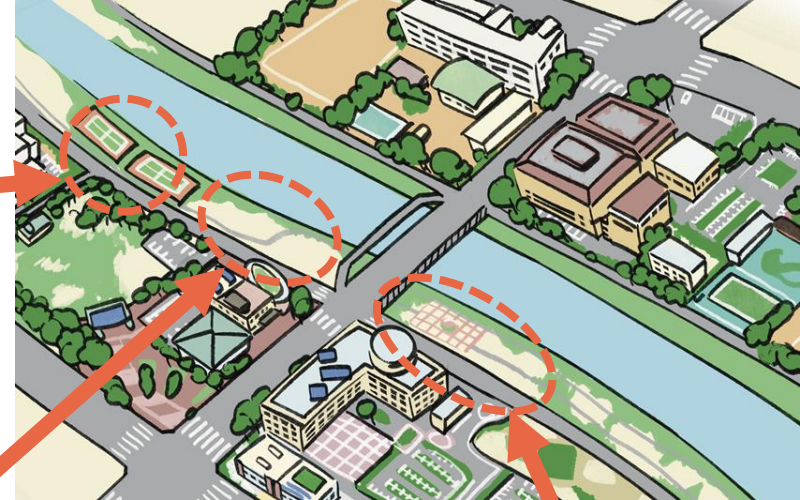
武庫川右岸にはスポーツのための施設なども設置しています



テニスコート



フットサルコート



シンボル広場、サッカーコート（奥）

武庫川河川敷



河川敷では毎年12月下旬に宝塚ハーフマラソン大会が開催されます。10マイル・クォーター・ファミリーの3種目を備え、幅広い世代に愛される人気イベントです

主なコースは、宝塚大劇場前からスタートし、美しい山並みを背景に武庫川河川敷を駆け抜け、末広中央公園横でゴールを迎えます

▼ハーフマラソン以外にも…



武庫川河川敷（課題）

- ハードの課題
 - ・ 県管理河川を占用している公園であるため、維持管理において県の許可が必要になるケースがあり、対応に時間を要する場合がある。また、新規での施設整備が河川管理上、制限される場合が多い。
- ソフトの課題
 - ・ 武庫川河川敷のテニスコート等について、現状が窓口受付のみなので、申し込みが不便である。

スポーツセンター

体育館やプール、テニスコート、野球場、グラウンドなどを備え、さまざまなスポーツを楽しむ施設です。市民の皆さんのスポーツ活動の場としてはもちろん、充実した習い事も開催されており、気軽にスポーツに親しめる環境が整っています



スポーツセンター（総合体育館）



▼大相撲宝塚場所



▼プロの出前講座



総合体育館

1986年度建築（築40年）

- ・メインアリーナ
 - ・サブアリーナ
 - ・トレーニングルーム
- 練習での利用はもちろん
試合やイベントも開催されています



スポーツセンター（武道館）



武道館

1986年度建築（築40年）

- ・柔道場
- ・剣道場
- ・パーラー



剣道場



剣道場



柔道場



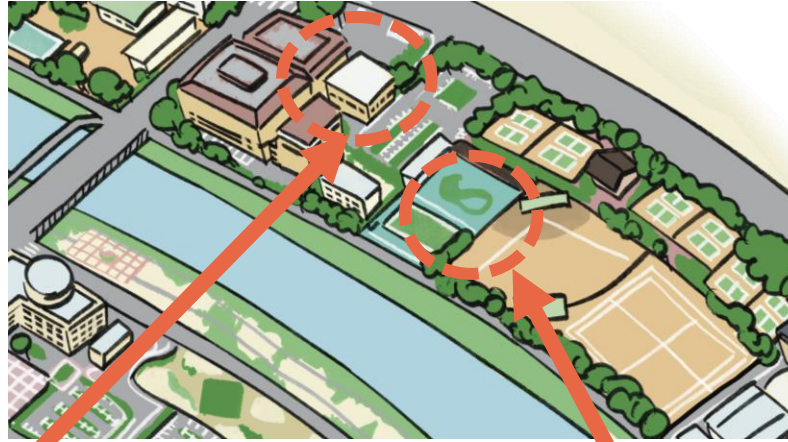
パーラー

スポーツセンター（プール）

屋内プール

1992年度建築（築34年）

25mプールがあり
水泳教室などが行われています



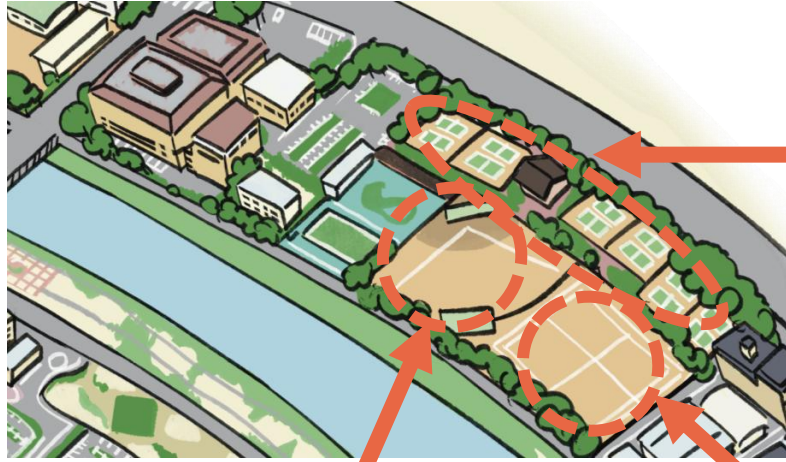
屋外プール

1989年度建築（築37年）（管理棟）

夏季限定で開放されていて
50mプールやスライダーが
あります



スポーツセンター（屋外施設）



テニスコート

屋外の運動施設

- ・テニスコート
- ・野球場
- ・多目的グラウンド



野球場



多目的グラウンド

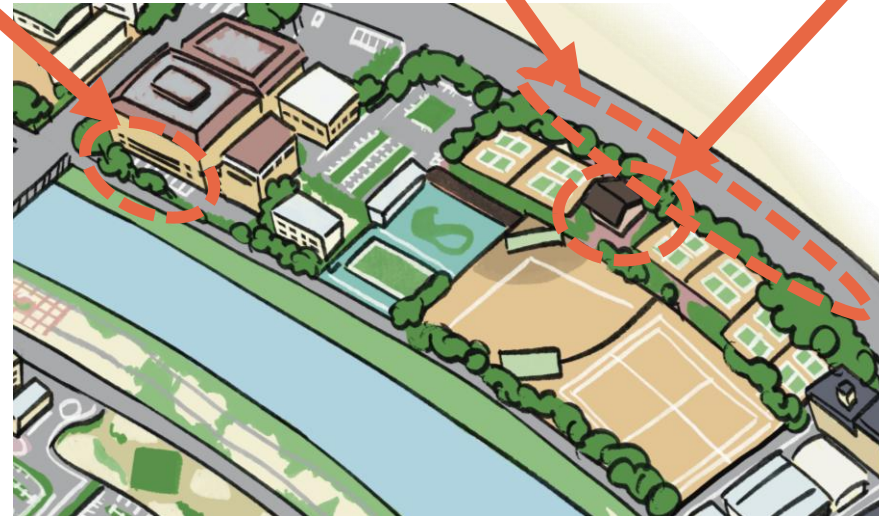


スポーツセンター（運動施設他）



ふれあいコーナー
1993年度建築（築33年）

バーベキュー設備



屋外管理棟
1990年度建築（築36年）

屋外運動施設の管理棟

スポーツセンター（課題）

- ハードの課題

- ・ プロスポーツ大会や、全国大会を誘致するには設備が足りない。
- ・ 施設修繕の経緯などの情報が一元管理されておらず、単発で発生する事案ごとに対応しているため、修繕や更新に関する優先順位の決定が困難になってきている。
- ・ 定期的な小規模修繕による予防保全を行うことが望ましいが、施設が大規模であることや、施設の老朽化が顕著であり、予算要求から設計、工事までの期間も必要となることから、迅速な保全ができていない。
- ・ 駐車場の動線が悪く、駐車場内で渋滞が発生している。さらに、その渋滞が入出庫に影響し、公道にまで渋滞を発生させている。
- ・ 施設規模に対し駐車可能台数が少ない。

- ソフトの課題

- ・ 設備の老朽化、スタッフの接客などの運営に対する苦情が発生した際、指定管理者ではなく市が直接利用者に対応しなければならないケースが多い。

教育総合センター/教育総合センター分室

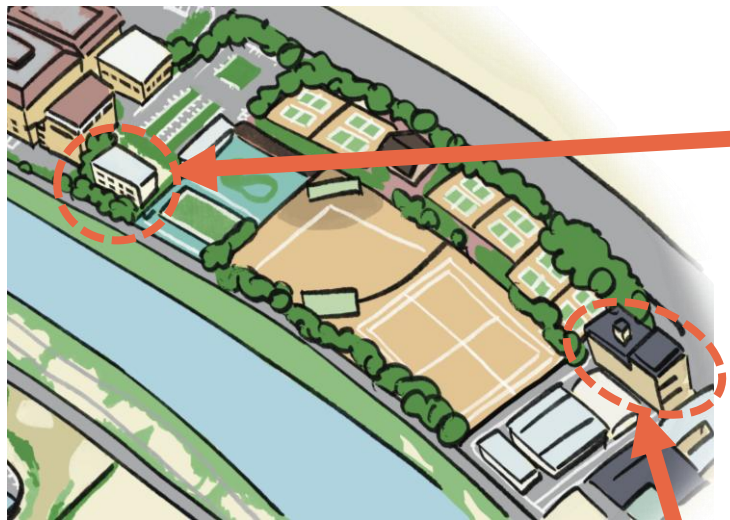
教育総合センター

1992年度建築（築34年）

教育総合センター分室

1969年度建築（築57年）

学校の先生たちの研修・会議に
利用されたり、
不登校支援を行ったりと
市全体の教育を支える施設です



教育総合センター分室



教育総合センター



図書館分室（センター内）

教育総合センター（課題）

- ハードの課題

- ・ 視聴覚室の電動式移動観覧席など、現状の利用実態に対してオーバースペックで老朽化した設備があり、維持管理や更新の要否が課題となっている。
- ・ 築 30 年が経過しており、全面的に老朽化しており、修繕が必要な個所が増加している。また、トイレや授乳室の設備が古く、使いにくい。
- ・ 駅から遠く、最寄りのバス停も便数が少ないため、公共交通機関での利用が極めて不便である。
- ・ 本庁や他の施設から離れている
- ・ 駐車場及び駐輪場が狭く、利用状況によってはすぐに満車になる。

- ソフトの課題

- ・ 教職員の研修施設という性質上、施設（貸し部屋）の利用が、特定の曜日や時間帯に偏っており施設の有効活用が十分になされていない。
- ・ 事業内容から不特定多数の市民が出入りを許容することが困難なため、特に平日については部屋の空き時間を開放することができず、自習室、図書館以外のスペースの市民の利用には制限がある。

教育総合センター分室（課題）

- ハードの課題
 - ・ 築 60 年に近づいており、建替え等を考えなければならない時期になっている。
 - ・ 休日や長期休暇中にスポーツセンター利用者の車がグラウンドに乗り入れることで、土が押し固まって滑りやすくなり、平日の児童生徒の活動時にケガをするリスクが高まっている。
- ソフトの課題
 - ・ 不登校児童にとって安心できる環境をつくるという施設の特性上、にぎわいづくりを目指すシビックゾーンが分室にとって適さない配置になる可能性が高い。同ゾーン内に設けるのであれば、施設に入る際に、この施設を目的に来たことが分かりにくい（例えば他施設利用者にまぎれられる）ような位置、かつ、周りの施設から見えないような位置で、茂みなど視界を遮る遮蔽物が必要である（動線や配置に配慮が必要）。
 - ・ 建替えとなると通所する児童にとって環境が大きく変わることとなることが懸念される。
 - ・ 現在教育総合センター内にある教育支援課との連携を考えると、事務所は近い位置にある方が良い。
 - ・ 不登校の要因が先生にある場合もあるため、先生が来る施設（教育総合センター）とは別の建物である方が良い。

市民アンケートの結果



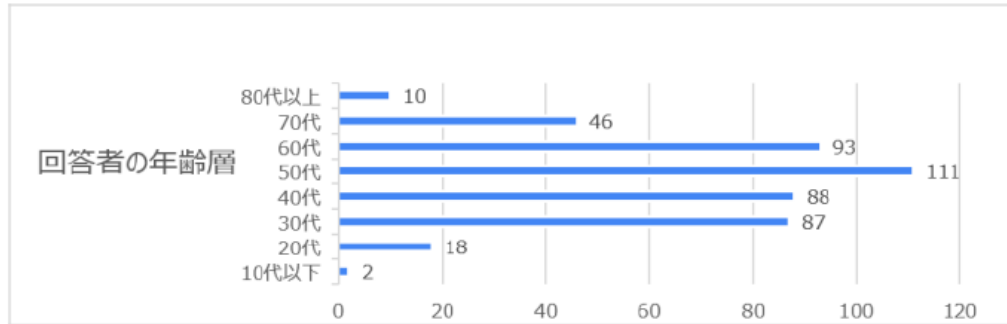
市民アンケート(Web 回答方式)

広報誌、公式 LINE、X 等で配信し、
455 件の回答を頂きました。

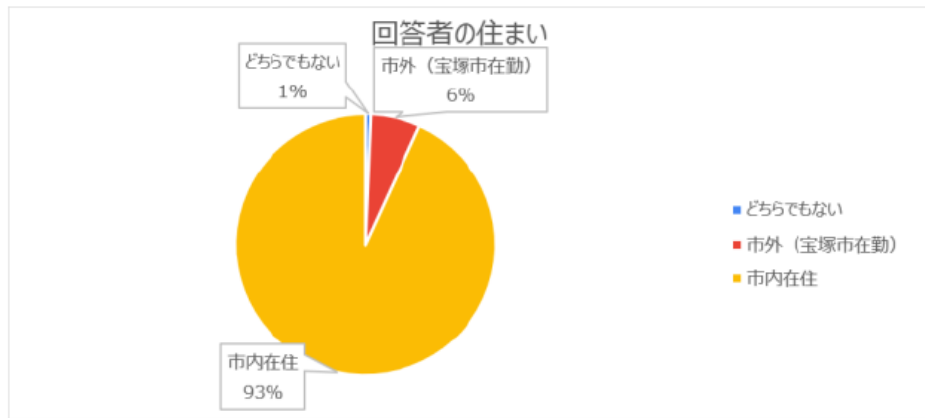
※対象施設は市民の日常的な利用が想定
される市役所、中央公民館、末広中央公
園、武庫川河川敷緑地、市立スポーツセ
ンター、末広体育館です。

市民アンケートの結果（回答者の属性）

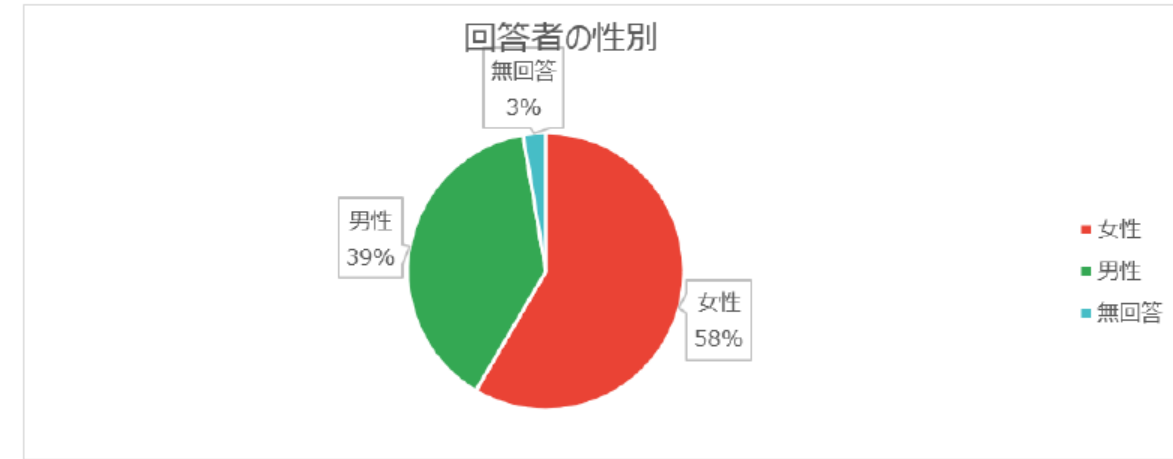
市民アンケートの回答者は30～60代が中心で、特に50代が最も多くの回答数を占めていました。



また、市内在住者が93%を占めており、次いで、宝塚市在勤の回答者が6%でした。



性別は、58%が女性であり、男性は39%でした。



市民アンケートの結果（利用実態）

利用する施設×利用頻度をみると、中・高頻度で利用している方が一定数いる一方で、低頻度又は利用している施設なしと答えた方が多数います。普段、シビックゾーンの公共施設を利用していない方もアンケートに回答されており、利用の有無にかかわらず、関心を持たれていることが分かります（潜在的顧客の存在）。

利用頻度	合計 / 市役所	合計 / 末広中央公園	合計 / 武庫川河川敷	合計 / スポーツセンター	合計 / 末広体育館	合計 / 中央公民館	合計 / 利用している施設なし
高頻度利用（ほぼ毎日～週1回）	48	52	64	36	15	8	0
中頻度利用（月に1回～月に数回）	51	96	66	30	7	42	0
低頻度利用（年に数回）	166	86	44	43	5	59	0
利用なし	2	0	0	1	0	1	255
総計	267	234	174	110	27	110	255

一方、年代別の各施設の利用の有無を見ると、施設によって偏りはあるものの、幅広い年代に利用されており、多様な世代が空間をシェアしながら利用している実態が分かります。

年代	合計 / 市役所	合計 / 末広中央公園	合計 / 武庫川河川敷	合計 / スポーツセンター	合計 / 末広体育館	合計 / 中央公民館	合計 / 利用している施設なし
シニア層（60代～）	90	61	63	17	4	45	88
現役ミドル世代（50代）	68	47	36	22	7	29	68
若者・子育て世代（10～40代）	109	126	75	71	16	36	99
総計	267	234	174	110	27	110	255

市民アンケートの結果（利用実態）

では、どのように多世代が同じ公共施設を利用しているか考察します。

これは、市民アンケートの結果ではなく、市民の利用ニーズに応じて開催されている教室の開催状況から推測します。

平日の昼間はシニア向けや幼児向けの教室が多く、夕方や休日は子どもたちのスポーツ教室、夜は現役世代の利用といった具合に、ライフステージ(年代)に応じた活動時間に合わせて、教室が開催されており、時間帯を分けて同じ施設を多世代がシェアしている利用実態が分かります。実際、施設で利用者層を観察していると、平日日中はシニアが、夕方は子供たちとその送迎の親、夜は大学生や社会人が・・・と、時間帯により、利用者の中心層が変化しているのが分かります。

例：市立スポーツセンターでの教室の開催状況(抜粋)

教室名	曜日	時間
ソフトエアロビクス	木曜日	10:15～11:15
ぽこ・あ・ぽこ(2～3 歳児)	火曜日	10:15～11:30
幼児体育教室(3～4 歳児)	月曜日	15:30～16:30
インドアテニス	木曜日	10:15～11:45
ジュニアテニス	月曜日	17:10～18:40
卓球	水曜日	20:00～21:00

市民アンケートの結果（求める機能）

市民アンケートにて、「シビックゾーンにどのような機能があったら良いと思うか」を調査しました（自由記述）。

求める機能はライフステージ（年代）によって違いはありますが、以下の３つがどの世代からも多く挙げられました。

① カフェ・飲食・くつろぎ：

飲食をしながら快適にくつろげる空間

② 休憩・待機・談笑できるスペース（日陰・屋内）：

日陰や屋内という気候から守られた環境で気兼ねなく時間を過ごせる空間

③ 運動・ボール遊び・スポーツ・アウトドア、子どもの遊び場・居場所：

遊びや活動の空間や機会の提供

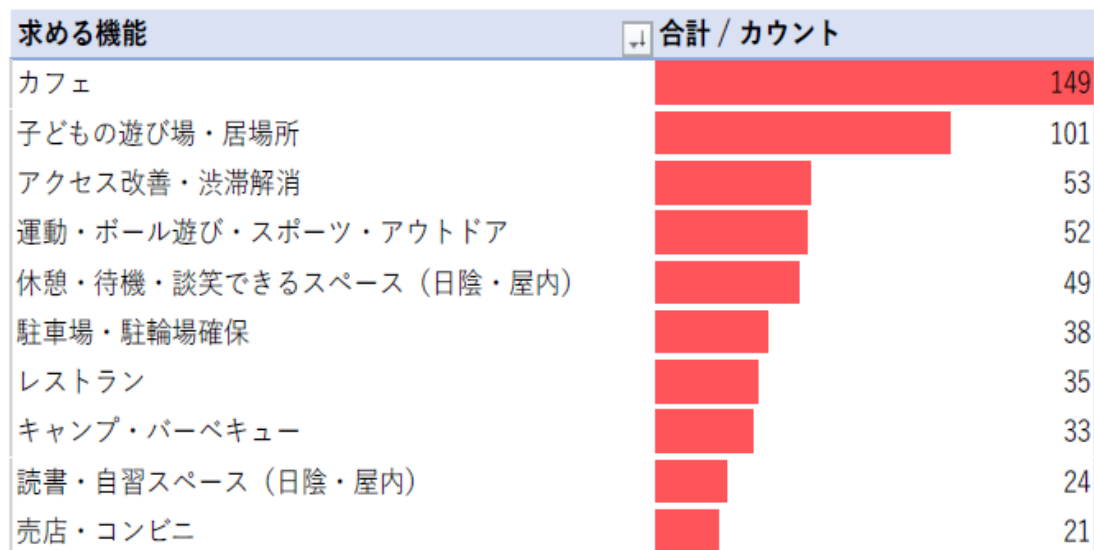
また、アクセス改善・渋滞解消、駐車場・駐輪場の確保など、「より訪れやすいようにするためのインフラ整備」の要望がありました。

市民アンケートの結果（求める機能）

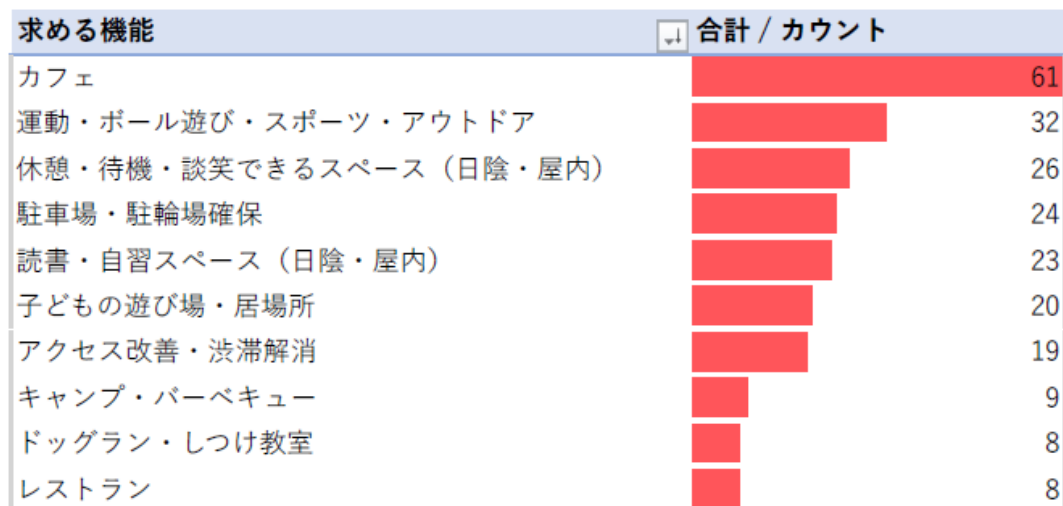
【シニア層(60代以上)】



【若者・子育て層(10代～40代)】



【現役ミドル層(50代)】



市民アンケートの結果（不満）

施設により、違いはありますが、全施設に共通する不満としては、求める機能でも挙げられていたアクセスの悪さ、渋滞、駐車場不足に加え、施設・設備の老朽化、日陰のなさなどのハード面の不満が挙がりました。

また、遊具が汚れているやトイレが汚い、雑草が多いなどの維持管理面の不満や、行きたいと思うような設備やコンテンツ提供の不足などのソフト面の課題が挙げられました。

市民アンケートの結果（不満）

【市役所】

不満	合計 / カウント
施設が古い・内装が汚い・暗い	23
アクセスが悪い	22
案内・動線が悪い・分かりにくい	22
窓口対応が悪い・待ち時間が長い	18
駐車場が使いにくい	11
総計	96

【市立スポーツセンター】

不満	合計 / カウント
施設が古い・汚い・臭う	20
駐車場・駐輪場不足	16
施設・設備が使いにくい・魅力がない	13
予約が取りにくい・混んでいる	10
予約システム（方法含む）が不便	5
駐車場が高い	5
総計	69

【末広体育館】

不満	合計 / カウント
空調がない	14
施設・設備が古い、破損している	7
観戦スペースが少ない	6
トイレが汚い	3
予約が取りにくい・混んでいる	1
待機スペースが狭い	1
総計	32

【中央公民館】

不満	合計 / カウント
アクセスが悪い	4
カフェがほしい	4
接客の質が低い	4
駐車場が高い	2
駐車場・駐輪場不足	2
施設・設備が使いにくい・魅力がない	2
情報発信不足	2
総計	20

【末広中央公園】

不満	合計 / カウント
遊具・設備・コンテンツ等に魅力がない	15
駐車場不足	14
設備（バスケットゴール、ドッグラン等）を充実させてほしい	10
日陰がない	9
遊具の管理ができていない（古い、汚れている等）	8
総計	56

【武庫川河川敷緑地】

不満	合計 / カウント
日陰がない・休憩できる場所がない	13
遊具・設備・コンテンツ等に魅力がない	11
設備（バスケットゴール、ドッグラン等）を充実させてほしい	9
雑草が多い	7
利用規制を緩和してほしい（バーベキューや花火等）	5
総計	45

市民と市長の対話ひろば

7月開催

市民と市長の対話ひろば

テーマ
市役所周辺エリア（シビックゾーン）の未来を語ろう！
～スポーツセンター・末広中央公園・河川敷などを
もっと楽しく！使いやすく！～

7.11 (土)	7.17 (金)	7.28 (火)	7.30 (木)
14:00~16:00	18:00~20:00	14:00~16:00	14:00~16:00
中央公民館	西谷会館	西公民館	東公民館

✓ シビックゾーンって？
市役所周辺を中心とする一帯のエリア
市民の憩いの場、市民の暮らしをサポートする拠点です
このエリア内の“公共施設”について
ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください！

シビックゾーンに関するアンケートを行っています！
ぜひご協力ください！

スポーツセンター

末広中央公園

末広体育館

河川敷

市民と市長の対話ひろば

市内 4 か所で開催し、
様々な年代の、延べ 96 名の方
にご参加頂きました。



市民と市長の対話ひろば

市民と市長の対話ひろばでは、以下のような意見が挙がりました。

- 武庫川等の景色を楽しみながら飲食ができるカフェ、コンビニの設置など、そこに行くこと自体が目的となる空間の要望
- 末広中央公園や武庫川河川敷は「とにかく日陰(木陰)や休憩できる屋内・ベンチが少なすぎる」など、夏の過酷な暑さ対策を求める声
- 周辺商業施設との連携や市役所食堂などと連携したエリア一体的な集客・動線の仕掛けの要望
- 花火大会や夏祭り、キッチンカーの日常的な出店など、市民が楽しめるイベントの開催の要望
- 末広中央公園などで、子どもたちがボール遊びなどを周辺の安全を確保しながら思いっきり楽しめるような工夫の要望
- 有料のスケートパークやドッグランの設置要望
- 河川敷のランナーなどの利用者が使えるようなトイレやシャワーの設置要望
- 循環バスの運行など、アクセス改善の要望
- 宝塚新大橋や市役所通りの道路渋滞の改善要望
- 駐車場の立体化などの駐車場不足の改善要望

市民ニーズ調査まとめ

これらを総合すると、求められている機能は以下のように整理できます。

- 日陰や屋内など、天候に関係なく快適に過ごせる場所
- スポーツやアウトドアなど、遊べる・活動できる場所
- カフェや談笑スペースで、一人でも複数でも、気軽に時間を過ごせる場所

一言で言うと、全天候型のサードプレイスであり、天候の影響をあまり受けずに、気軽に時間を過ごせたり、楽しめたりできる空間の整備が求められています。

グループワークの進め方

① 個人ワーク（5分）：

シビックゾーンにおいて、新たな付加価値・にぎわいを生み出すために何ができるか、各自アイデアを考えてみてください。

② グループ内共有（15分）：

各自で考えたアイデアをグループで共有し、ホワイトボードにアイデアを書き出してください。新たに浮かんだアイデアの追加也大歓迎です。

③ 代表アイデアの選定・ブラッシュアップ（30分）：

グループ内で全体発表用のアイデアを1つ選定して、グループにて内容のブラッシュアップ（磨き上げ）を行ってください。

ホワイトボードのアウトプットイメージ

アイデア

- ✓ -----
- ✓ -----
- ✓ -----
- ✓ -----
- ✓ -----
- ✓ -----
- ✓ -----
- ✓ -----
- ✓ -----
- ✓ -----
- ✓ -----
- ✓ -----

グループ案

タイトル	
ターゲット	
施設	
内容	
解決する課題	

ブレインストーミングの基本ルール

- | | | |
|---|---------|---|
| ① | “質より量” | <ul style="list-style-type: none">• できる限り多くのアイデアを出す |
| ② | “自由奔放” | <ul style="list-style-type: none">• 発言に制約を設けず、突飛なアイデアであっても、積極的に発言する |
| ③ | “連想・結合” | <ul style="list-style-type: none">• 他人のアイデアへの便乗を歓迎する• 複数のアイデアを組み合わせ、積極的に新しいアイデアを生み出す |
| ④ | “結論禁止” | <ul style="list-style-type: none">• その場でアイデアを評価しない• アイデアの評価・判断はブレインストーミングの次の段階に行う |